

蕨市議会だよりナンバー226 2024年6月発行号

表紙写真、今回の市議会だよりは、表紙に掲載されているQRコードを読み込むと、議会ツアーの動画をご覧くださいことができます。

議場や委員会室のほか、普段なかなか見ることができない議員控室についても紹介しています。市民の皆様にも市議会をより身近に感じていただき、ぜひ傍聴にもお越しください。

蕨市議会広報広聴委員会

電話番号 048-433-7733

FAX 番号 048-432-7991

全9会計の令和6年度予算を原案可決

3月定例会の概要

3月定例会は、2月16日から3月21日までの35日間で行われました。

今定例会では、市長から施政方針表明が行われ、代表質問では、4人の議員が施政方針や市政全般について質問を行いました。（6、7ページ参照）

一般質問では、13人の議員が市政の重要課題をそれぞれ取り上げました。（8から14ページ参照）

採決では、市長提出議案36件を原案のとおり可決・推薦・承認し、議員提出議案3件を原案のとおり可決しました。

3月定例会の主な議案

蕨市ヤングケアラー支援条例

ヤングケアラーとは、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものことを言います。全てのヤングケアラーが自分らしく、健康で文化的な生活を営み、健全に成長することができるよう地域社会全体で支援していくことを目的として本条例を制定します。

令和5年度蕨市一般会計補正予算第9号

本補正予算は、令和5年度予算に15億9,505万7千円を増額するものです。

主な内容は、法改正等により戸籍総合システムや住民基本台帳システム等に係る修正委託料を増額するほか、蕨市立病院建設基金を含む5つの基金の原資を積み増しします。また、新庁舎落成式及び内覧会において展示した絵画の購入費用519万2千円が争点となり、慎重な審議の結果、賛成多数で原案のとおり可決となりました。

令和6年度予算の概要

令和6年度の一般会計予算は、前年度比3.3%増の289億8325万円となりました。

歳入では、国の定額減税の影響等により、歳入の根幹をなす市税収入を前年度比2億3千万円減の115億2千万円、地方交付税は4億6千万円増の23億3千万円と見込み予算計上しています。歳出では、駅西口市街地再開発事業や橋りょう改修事業などの建設関連予算、18歳までのこども医療費無料化や学校給食費の負担軽減などの子育て関連予算のほか、にぎわい交流拠点整備

支援費用などを計上しています。

特別会計の合計額は158億1,600万円、企業会計の合計額は62億623万9千円で、すべての会計を合わせた蕨市全体の予算規模は510億548万9千円となりました。

一般、特別会計

一般会計 289 億 8,325 万円

特別会計 158 億 1,600 万円

国民健康保険 74 億 3,900 万円

錦町土地区画整理事業 14 億 5,900 万円

介護保険 58 億 500 万円

後期高齢者医療 10 億 8,300 万円

公共用地先行取得事業 3 千万円

企業会計

病院事業会計収益的支出 32 億 9,725 万 5 千円

水道事業会計収益的支出 13 億 5,800 万 6 千円

公共下水道事業会計収益的支出 15 億 5,097 万 8 千円

蕨市全体の予算

一般会計 289 億 8,325 万円

特別会計 158 億 1,600 万円

企業会計 62 億 623 万 9 千円

合計 510 億 548 万 9 千円

令和6年3月定例会における議案等に対する賛否結果

議請第1号 保育士確保の為の支援事業に関する請願 全会一致で採択

議請第2号 DV等支援措置の周知・案内リーフレットの作成に関する請願

新翔会× 共産党× 公明党× 無所属（えのもと議員）× 日本維新の会○ 結果不採択

議案第1号 蕨市ヤングケアラー支援条例 全会一致で賛成 原案可決

議案第2号 蕨市開発許可の基準に関する条例 全会一致で賛成 原案可決

議案第3号 蕨市公共下水道事業の設置等に関する条例等の一部を改正する条例
全会一致で賛成 原案可決

議案第4号 会計年度任用職員の報酬等に関する条例の一部を改正する条例
全会一致で賛成 原案可決

議案第5号 蕨市手数料条例の一部を改正する条例 全会一致で賛成 原案可決

議案第6号 蕨市手数料条例の一部を改正する条例 全会一致で賛成 原案可決

議案第7号 蕨市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

新翔会○ 共産党○ 公明党○ 無所属（えのもと議員） × 日本維新の会 ○ 原案可決

議案第 8 号 蕨市重度心身障害者医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

全会一致で賛成 原案可決

議案第 9 号 蕨市こども医療費支給に関する条例の一部を改正する条例

全会一致で賛成 原案可決

議案第 10 号 蕨市ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例

全会一致で賛成 原案可決

議案第 11 号 蕨市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例

全会一致で賛成 原案可決

議案第 12 号 蕨市介護保険条例の一部を改正する条例

新翔会○ 共産党○ 公明党○ 無所属（えのもと議員） × 日本維新の会 ○ 原案可決

議案第 13 号 蕨市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例 全会一致で賛成 原案可決

議案第 14 号 蕨市営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例 全会一致で賛成 原案可決

議案第 15 号 蕨市奨学金条例の一部を改正する条例 全会一致で賛成 原案可決

議案第 16 号 蕨市水道事業給水条例の一部を改正する条例 全会一致で賛成 原案可決

議案第 17 号 蕨市庁舎整備基金条例を廃止する条例 全会一致で賛成 原案可決

議案第 18 号 令和 5 年度蕨市一般会計補正予算第 9 号

新翔会 9 名のうち、ふるかわ議員・ひき議員の 2 名が× その 2 名の議員を除いた 7 名の議員が
○ 共産党○ 公明党○ 無所属（えのもと議員）× 日本維新の会× 原案可決

議案第 19 号 令和 5 年度蕨市国民健康保険特別会計補正予算第 2 号

全会一致で賛成 原案可決

議案第 20 号 令和 5 年度蕨都市計画事業錦町土地区画整理事業特別会計補正予算第 1 号

全会一致で賛成 原案可決

議案第 21 号 令和 5 年度蕨市介護保険特別会計補正予算第 2 号 全会一致で賛成 原案可決

議案第 22 号 令和 5 年度蕨市後期高齢者医療特別会計補正予算第 2 号

全会一致で賛成 原案可決

議案第 23 号 令和 5 年度蕨市公共用地先行取得事業特別会計補正予算第 1 号

全会一致で賛成 原案可決

議案第 24 号 令和 6 年度蕨市一般会計予算 全会一致で賛成 原案可決

議案第 25 号 令和 6 年度蕨市国民健康保険特別会計予算 全会一致で賛成 原案可決

議案第 26 号 令和 6 年度蕨都市計画事業錦町土地区画整理事業特別会計予算

全会一致で賛成 原案可決

議案第 27 号 令和 6 年度蕨市介護保険特別会計予算 全会一致で賛成 原案可決

議案第 28 号 令和 6 年度蕨市後期高齢者医療特別会計予算 全会一致で賛成 原案可決

議案第 29 号 令和 6 年度蕨市公共用地先行取得事業特別会計予算 全会一致で賛成 原案可決

議案第 30 号 令和 6 年度蕨市立病院事業会計予算 全会一致で賛成 原案可決

議案第 31 号 令和 6 年度蕨市水道事業会計予算 全会一致で賛成 原案可決
議案第 32 号 令和 6 年度蕨市公共下水道事業会計予算 全会一致で賛成 原案可決
議案第 33 号 人権擁護委員候補者の推薦について 全会一致で推薦
議案第 34 号 人権擁護委員候補者の推薦について 全会一致で推薦
議案第 35 号 専決処分の承認を求めることについて 令和 5 年度蕨市一般会計補正予算第 8 号
全会一致で承認
議案第 36 号 令和 6 年度蕨市一般会計補正予算第 1 号 全会一致で賛成 原案可決
議員提出議案
第 1 号 蕨市議会議員の請負の状況の公表に関する条例 全会一致で賛成 原案可決
議員提出議案
第 2 号 蕨市議会会議規則の一部を改正する規則 全会一致で賛成 原案可決
議員提出議案
第 3 号 蕨市議会委員会条例の一部を改正する条例 全会一致で賛成 原案可決

議案第 1、7、12、18 号については質疑が、議案第 7、12、18 号については討論が行われました。質疑・討論の詳細な内容は蕨市ホームページ「蕨市議会」の「録画放映」からご覧になることができます。

令和 6 年度に実施する主な新規・拡充事業

市議会では、令和 6 年度予算の内容について、予算決算常任委員会の総務・環境福祉経済・教育まちづくりの 3 つの分科会において、詳細に審査を行っています。令和 6 年度一般会計予算の内訳とともに、令和 6 年度の主な事業について、審査を行った分科会ごとに紹介していきます。

令和 6 年度一般会計 歳入・歳出予算内訳

歳入

市税 115 億 2 千万円、国庫支出金 68 億 3,780 万 5 千円、地方交付税 23 億 3 千万円、県支出金 19 億 2,463 万 8 千円、地方消費税交付金 16 億 4 千万円、繰入金 15 億 6,446 万 1 千円 その他 31 億 6,634 万 6 千円 合計 289 億 8,325 万円

歳出

民生費 141 億 9,835 万 3 千円、土木費 33 億 4,172 万 7 千円、教育費 28 億 5,795 万 1 千円、総務費 26 億 3,816 万 6 千円、衛生費 25 億 7,294 万円、公債費 17 億 4,359 万 1 千円、消防費 9 億 6,816 万 4 千円、その他 6 億 6,235 万 8 千円、合計 289 億 8,325 万円

総務分科会

防犯カメラ増設による防犯対策の強化 701 万 2 千円

街なか防犯カメラを 60 基増設するほか、家庭用防犯カメラ設置費用の 2 分の 1 を補助（上限額は個人宅 2 万円、共同住宅 10 万円）し、犯罪が起こりにくい環境づくりを推進します。

SDGs 推進事業補助金 78 万円

市民活動団体等が提案する SDGs の達成に資する事業のうち、市が審査したうえで採択した事

業に対して補助金を交付します。令和6年度の指定テーマは「わらびエコチャレンジ事業 ストップ温暖化」となります。

防災行政無線の整備 4,080 万円

防災行政無線の難聴地域の聞こえ方を改善するため、わらびりんご公園、三和稲荷公園、あづま公園、金山公園に子局を設置します。

市民会館改修事業 4,921 万 1 千円

老朽化したコンクレホール舞台照明設備等改修工事の設計や、災害時における避難者の生活環境の改善及びトイレ設備の充実を図るため、福祉棟 102 会議室をトイレとする改修等を実施します。

水害対策の強化 258 万 2 千円

集中豪雨や台風による冠水対策の強化のため、土のうステーションを各地区に 1 基ずつ増設します。また、救助用ボート 2 艇を購入し、消防団災害用資機材の整備を図り、大規模水害対策を強化します。

環境福祉経済分科会

18 歳までのこども医療費無料化 3,189 万 2 千円

令和 6 年 4 月診療分より、通院に係るこども医療費の助成対象を満 18 歳（現行満 15 歳）に達する日以後の最初の 3 月 31 日まで拡充します。

高齢者補聴器購入費助成金 120 万円

身体障害者手帳に該当しない中等度難聴の 65 歳以上の高齢者に対し、補聴器購入費の一部を助成します。（上限額 4 万円）

带状疱疹ワクチン任意接種費用助成金 1,326 万円

带状疱疹の発症及び重症化予防のため、50 歳以上を対象に、带状疱疹ワクチン接種に係る費用の一部を助成します。

種類生ワクチン 助成回数 1 回 1 回当たりの助成金額（上限）4 千円

種類不活化ワクチン 助成回数 2 回 1 回当たりの助成金額（上限）1 万円

精神障害者への福祉タクシー利用券交付 62 万 4 千円

精神障害者保健福祉手帳 1 級の所持者に福祉タクシー利用券を交付し、社会参加の促進等を図ります。

カーボン・オフセットの推進 159 万 5 千円

群馬県片品村と森林整備の実施に関する協定を締結し、「（仮称）かたしな・蕨の森」の整備に係

る費用を負担するとともに、環境学習を実施します。

折りたたみ式もやすごみ回収BOXの増設 286 万円

ごみ集積所のカラス対策として昨年度、試験的に配備した効果が認められたことから、今年度は更に 100 台配備し、生活環境の改善を図ります。

にぎわい交流拠点の整備 1,384 万 8 千円

市役所仮設庁舎跡地の具体的な土地利用や施設配置など、民間活力を活用して検討を進めます。

教育まちづくり分科会

学校トイレの改修 3,760 万 5 千円

小・中学校の教育環境の改善を目的に、校舎のトイレ改修を計画的に進めます。令和 6 年度は、東小学校、南小学校、中央小学校のトイレ改修工事の設計を実施します。

青少年の活動機会の充実 362 万 9 千円

小・中学生や親子を対象に、群馬県片品村での森林環境教育や栃木県大田原市での農家宿泊体験など、自然体験ツアーを実施します。また、宿泊を伴った野外活動を行う市内青少年団体への活動奨励費を 1 人 1 泊 1,500 円（現行 1,100 円）に増額します。

学校給食費の負担軽減 5,322 万 6 千円

食材費の高騰が続くなかでも、学校給食費の値上げを行うことなく給食を提供するとともに、第 2 子以降の学校給食費を全額補助し、実質無償化にすることで、経済的な負担軽減を図ります。

橋りょう改修事業の推進 6 億 1,332 万 9 千円

塚越りっきょうこせんぶ及びわらびこせんじんどうきょうの修繕工事を継続して、J R 東日本に委託します。また、塚越こせんじんどうきょう修繕工事の設計を実施します。

公園等整備事業 3,413 万 2 千円

錦町地区 1 号公園整備工事の基本設計を実施するほか、富士見公園内野球場の整備や富士見第 2 公園内テニスコートの人工芝の張り替え、蕨市民公園トイレの洋式化などを実施します。

駅西口市街地再開発事業の推進 5 億 5,210 万円

蕨駅西口地区市街地再開発組合が実施する工事費などに対して補助金を交付し、事業の推進を図ります。

代表質問

代表質問とは、一般会計当初予算案や市政全体にわたり、各会派の代表者 1 名と、2 人以上の議員

で構成する会派に所属していない議員がそれぞれの持ち時間で質問する制度です。

今号より本会議録画配信のQRコードを掲載します。QRコードをスマートフォン等で読み取ると当該質問を視聴することができます。

未来を見据えた本市の方向性について問う

しんしょうかい まえかわ やすえ

安心して暮らせるまちへ

議員 災害対策についてはどのようなか。

市民生活部長 新年度では重要施設配水管の耐震化を進めるとともに、橋りょうの長寿命化・耐震化等を推進し、防災行政無線については、難聴地域の聞こえ方の改善を図る。防災意識の高揚や啓発について継続的に取り組み、市民・地域・行政が連携した災害に強いまちづくりを推進していく。

議員 福祉の高齢者施策の面では多くの課題があると認識している。本市の高齢者施策はどうか。

健康福祉部長 新年度では、これまでの事業や取り組みを継続・発展していくほか、住み慣れた地域で自分らしく暮らしていくための事業を重点取り組みとして実施する。

元気な楽しいまちへ

議員 まちのにぎわいを再興することについて、どのような考えか。

市長 人々が駅前にとどまらないように、駅前通りと中山道をつなぐにぎわい交流拠点が必要であると考えている。にぎわいや回遊性が持てるようなまちづくりを、駅前再開発と同時に進めたい。

議員 特色ある公園づくりをお願いしてきたが、今後の公園整備事業についてはどのようなか。

都市整備部長 地域の歴史を感じ、自然遊びができる公園整備を基本方針とし、地域住民等の意見や要望を反映した具体的な整備内容を基本設計として取りまとめていく。

未来を担う子どもたちへの投資について

議員 魅力ある学校づくりと教育環境の充実は一体と考える。本市の教育環境の整備はどのようなか。

教育長 小学校ではエアコン設置工事のほか、トイレの改修を進めていく。第二中学校では、校舎の外壁、屋上防水改修工事を行うほか、ICT教育環境の整備としてDXルームを整備する。

市立病院の建替えについて

議員 市立病院の建替え及び健全経営についてどのように考えているか。

病院事務局長 建替えが必要であると認識している。医師の確保を最重要課題とし、健全経営に向けた取り組みを進めていく。

公共施設等総合管理の方向性について

議員 公共公益施設、仮設庁舎跡地等の未利用地、市が買い戻した土地等を勘案した今後の公共施設等総合管理の方向性についてはどのようなか。

総務部長 公共施設等総合管理計画で示す施設の長寿命化と総量の抑制を基本目標としつつ、将来ビジョン2等も踏まえ、利用可能な市有土地等を有効に活用していく。

将来ビジョン・10年間の市政を展望し、あったか市政のさらなる前進を

日本共産党 すずき さとし

議員 市政運営の重点課題は。

総務部長 将来ビジョン2の4つの重点プロジェクト（①安心安全・エコシティプロジェクト②子どもの元気・未来創造シティプロジェクト③魅力と活力・にぎわいシティプロジェクト④みんなで笑顔・けんこうシティプロジェクト）を推進していく。

議員 将来ビジョンにおける10年間の成果、これからの10年間の目標・方向性はどうか。

市長 コロナ・物価高騰対策や防犯防災対策、保育園などの増設、市独自の小学校35人学級などの「くらしを支える市政の前進」、市民との直接の対話・触れ合いを原点に市長タウンミーティング等を継続した「心が通い合う市政」、140億円程度の財政改善などの「市政の改革の推進」で大きな前進。まちへの愛着が7割を超えるなど、くらしやすい市政の中で選ばれる、成長するまちとしても成果。今後10年の方向性は4つの重点課題にまとめ、みんなにあたたかいまち蔵をみんなと心を通わせて実現するという将来像も掲げた。くらしを守り心が通い合う市政の前進で、人口減少社会の中でも発展し、選ばれる、成長するまちを加速化したい。

市民の願いを生かした市立病院の整備を

議員 今後の課題は。

病院事務局長 医師退職の影響や、新型コロナ特別管理加算の廃止などで厳しく、医師確保が最大の課題。関連大学へのアプローチ等や情報収集する中で、早期に体制を整えたい。

議員 救急対応の充実など、新病院完成までの間にも病院環境の改善を要望する。建替え方針について市長の見解は。

市長 市内5か所で説明会を開催。期待の大きさを感じ、市民の思いを受け止めた。市民のための病院であり、積極的に情報を提供し意見を伺いながら進める。交通アクセスの改善や災害対応などの要望、予定地近隣の不安も伺っており、念頭に置き取り組みたい。将来像としては、救急医療・急性期を担う役割、超高齢社会での地域包括ケアシステム・回復期の役割、感染症等パンデミックでの対応、災害時の拠点としての役割が大事。市議会や市民と一緒に市長として責任を持って進めたい。

高齢者補聴器購入費助成金が実現

議員 制度の内容は。

健康福祉部長 40から70デシベル未満が聞こえない中等度難聴の65歳以上を対象に、1台限り4万円を上限に助成。医師の意見書を添付し事前に申請、市の決定後に購入した補聴器の写しを添付して市に請求していただく。

小、中学校トイレ様式化4年程度で完了へ

議員 今後の推進計画は。

教育部長 新年度は東、南、中央東の各小学校で未改修箇所全ての設計を実施。全小、中学校トイレの洋式化について4年程度で完了を目指す。

令和6年度の行政運営及び市長の施政方針について

公明党 ほんだ ていこ

災害に備えた防災対策の更なる充実を

議員 能登半島地震の被害状況を見ていると、住宅の耐震化が最重要課題だと感じている。また、被災状況を把握するうえで、ドローンを市消防本部で所持し、利用できるようにすることが災害対策に有効だと考えるがどうか。

市長 市独自に三世代ふれあい家族住宅取得補助金制度を設け、耐震化促進の取り組みの1つとして実施している。また、耐震診断や耐震改修に対する補助制度の啓発を推進し、更なる促進に取り組みたい。ドローンの導入については、災害に強いまちづくりを進めるために重要であると考えており、先行事例を把握しながら、早期導入に向けて積極的に検討したい。

議員 安全安心課防災危機管理係に女性職員を配置する考えはあるか。

総務部長 避難所運営等で女性の視点は必要であることなどから、女性職員の配置を検討したい。財政状況の分析と事業の見直しについて

議員 他自治体と比較して分析することができる財政状況資料集を見ると、本市の扶助費については依然として類似団体内平均値を上回っている。資料集の分析欄には、「市独自で実施している事業を見直す」とあるが、事業の見直しについて、市長の考えはどのようなか。

市長 高齢者等が利用できる緊急通報サービスを民間事業者に委託することで年間1,800万円減額した事例がある。今後も市民サービスを拡充しながら、財政の健全度を維持し、持続可能な行財政運営に取り組みたい。

「塚越ビジョン」について

議員 市長マニフェストの「塚越ビジョン」については、塚越の住民が非常に期待をしている。今後、どのように進んでいくのか市長の考えをお聞きしたい。

市長 塚越の夢のある将来を描く「塚越ビジョン」を策定することが、まち全体としても、塚越地域の発展という意味においても重要になると考え、マニフェストに掲げさせていただいた。今年度から検討を進めて、令和7、8年度にアンケート調査やワークショップ等を行い、8年度中にはこの「塚越ビジョン」を策定したいと考えている。

市民体育館の熱中症対策について

議員 市民体育館にエアコンを設置すべきであると考えているがどうか。

教育長 近年の猛暑による熱中症の危険度も増しており、必要性は十分認識している。市全体の財政状況等を総合的に検討する必要がある、設置費用やランニングコスト等について研究していく。

防犯カメラ増設ではプライバシーの配慮を

無所属 えのもと かずたか

議員 代表質問の持ち時間において、無所属は10分しかないのは、いくら何でも少ない。今後、時間を増やしていただくことを、各会派に要望する。さて、新年度予算に一般の住宅等への防犯カメラ設置費補助金が盛り込まれた。特定の個人宅を映すこともあるが、映されたくない方もいるだろう。プライバシーへの対応はどのようなか。

市民生活部長 市で設置した街なか防犯カメラは、マスキングをして一部を映さないように加工できるが、家庭用防犯カメラはそこまでの対応ができないだろう。設置者は、他人の家が映るのであ

ればその方に了解を得て、誓約書等を提出していただくことを考えている。

議員 市が補助金を出して設置を進めていくのであるから設置後もトラブルになった際には、市がしっかりと介入してほしい。

にぎわい交流拠点整備はしっかりと「にぎわい」の創出ができる事業に

議員 市役所仮設庁舎跡地に、にぎわい交流拠点を整備するコンサルタント業務委託の内容は。

市民生活部長 プロポーザル方式によりコンサルタントと委託契約を結び、市場調査や民間事業者の進出意欲等の把握のほか、さまざまな事業者から仮設庁舎跡地の利活用の提案を受ける体制づくりを行っていく。

市政を問う！一般質問

3月定例会では、12、13、14日の3日間で13人の議員が市政に対する一般質問を行いました。

キャッチボールや花火のできる子どもたちの笑顔あふれる場所づくりについて

しょうの こうじ議員（しんしょうかい）

議員 子どもたちの体力向上のためにもスポーツが盛り上がりを見せている今こそ、キャッチボールなどのできる公園整備を進めることに意義があると思うが、市の考えはどのようなか。

都市整備部長 自由に伸び伸びと遊べる空間の確保は、子どもたちの健やかな成長のためには大切なことだと認識している。ボール遊びのできる公園の整備を市長マニフェストに掲げたところであり、今後、整備に向けた取り組みを進めていく。

議員 市内の公園には、なぜ花火のできる場所がないのか。今後、花火のできる場所をつくる予定はあるのか。

都市整備部長 騒音や煙など、近隣住民に迷惑がかかる懸念があることや、公園の管理上支障が出ることが考えられるため、花火の使用は原則禁止している。現状では、花火の使用を許可することは難しい。

議員 子どもたちのために前向きに検討していただきたい。

中学校の学区について

議員 今の学区割になったのはいつからか。また、学区の割り当ての変更などをする予定はあるのか。

教育長 小、中学校通学区域は、昭和60年4月1日に教育委員会規則で定められ、住居表示により区分された基本学区の学校に通うことを原則としている。今後、駅西口再開発に伴うマンション建設により一時的な児童、生徒数の増加も想定されるので、適切な通学区域の設定に向けて調査、研究していきたい。

外国人児童、生徒への日本語教育支援について

議員 日本語特別支援教室について、令和4年度の利用人数はどのようなか。

教育長 56名となっている。

議員 日本語教育支援に関わる小、中学校の教員の負担及び改善すべき点はどのようなか。

教育長 個々の日本語習得状況などにより、授業だけでなく、日常生活の様々な場面においても、きめ細かな支援が必要とされることや、保護者への対応などは負担になっていると認識している。今後の改善点としては、日本語指導教員の指導力の向上や環境整備であると考えている。

議員 日本語支援ボランティアや日本語指導員の協力とともに、学校の先生方にも負担が増え過ぎないように支援いただきたい。

大地震発生への備えについて

おかだ みきお議員（しんしょうかい）

議員 通電火災に対する備えについて市の見解はどうか。

市民生活部長 地震による火災の主な原因は、揺れに伴う電気機器からの出火であることから、日頃の備えとして、設定値以上の揺れを感知したときに電気を自動的に止める感震ブレーカー等の火災対策機器の設置について、まちづくり出前講座や総合防災演習等において啓発を図っている。

議員 能登半島地震の状況や他自治体の早急な対応を踏まえて、感震ブレーカー設置の補助を進める考えはあるか。

市民生活部長 感震ブレーカーは様々な種類があり、各家庭における電化製品との相性も考慮しなくてはいけないため、先進事例を踏まえて、引き続き検討していきたい。

議員 市民に対して、感震ブレーカーの必要性を丁寧に説明し、設置を促してほしい。

避難所の開設が決定した際の運営方法は確立されているのか。

市民生活部長 避難所の円滑な運営に当たっては、避難者がそれぞれの役割を担いながら自主的に管理運営していくことが重要であることから、避難所運営マニュアルを平成 27 年度に策定している。

また、令和 4 年度からは自主防災会、指定避難所及び行政により、避難所運営協議会を順次設置する。開設・運営に向けた話し合いを指定避難所ごとに行い、具体的な内容についてはマニュアルに反映させて、今後の運営に活用していきたい。

議員 職員及び市民の避難所運営に対するスキルアップが図られるようお願いする。

市民会館コンクレホールにおける座席シートの改修及びトイレの増設について

議員 老朽化した座席シートを改修する考えはないのか。

総務部長 市民会館の改修について安全性や通常有する機能の確保に関わる修繕を優先して対応している。他の改修事項等も含めて、市全体の施策の優先度を考えていく中で、総合的に検討する必要があるものと認識している。

議員 トイレの増設に伴う改修内容についてはどのようなか。

総務部長 コンクレホールにおけるイベント開催時等でのトイレの混雑緩和や、バリアフリー化を図ることを目的として、福祉棟 102 会議室を利用者用トイレへと改修する工事である。

議員 利用状況を十分把握し、整備内容に反映していただきたいと要望する。

「住宅用耐震シェルター」「ベッド型耐震シェルター」への補助制度について

やじま さとこ議員（公明党）

議員 住宅の耐震化が予算的に難しい場合は、耐震補強に比べて比較的安価で工事も短期間であり、在宅工事が可能な「住宅用耐震シェルター」「ベッド型耐震シェルター」の設置が有効である。設置への補助制度についてどのように考えるか。

都市整備部長 「住宅用耐震シェルター」や「ベッド型耐震シェルター」は、地震によって住宅が倒壊した場合でも局所的な安全空間を確保でき、人命を守る1つの方策として有効なものと認識している。補助制度については、都市防災としての施策の優先度を踏まえながら、対象となる設備の工法や安全性、他市の補助制度の動向等、引き続き調査・研究していきたい。

中学校の部活動における地域移行について

議員 部活動の地域移行を本市のスポーツ協会や、スポーツ少年団の「中学生の部」として依頼できないか。

教育長 実証事業の実施に当たって、スポーツ協会と連携を図っている。特に学校部活動にない種目については、市内で活動している団体と連携を図ることが望ましく、今後はそのような団体等の連携についても強化していきたい。

介護現場のハラスメント対策について

議員 介護現場におけるハラスメントの問題が起きた時に被害を受けて通報できる体制や、他職種及び関係機関との情報共有や対策の検討会議の確保、定期的に相談できる場を持つことをどのように考えるか。

健康福祉部長 ハラスメント被害を受けた場合、まず相談いただくのは、各事業所の担当者や窓口となるが、事業所単独で解決できない場合の相談窓口としては、埼玉県介護・障害福祉事業所等暴力・ハラスメント相談センターや市、地域包括支援センター等となる。市や地域包括支援センターは、関係者間で個別の支援会議を開催し、対応方法の検討や助言等の支援を行っている。また、介護保険事業者連絡会、ケアマネジャー研修会で意見交換をしたり、地域包括支援センターでは毎月連絡会を実施し、情報共有、個別案件の相談について支援会議を活用して対応している。

ほかに「災害時安否確認ボード」「市民会館コンクレホール設備改修」について質問。

個を伸ばす教育について

ふるかわ あゆみ議員（しんしょうかい）

議員 DXルームについてどのような活用が期待できるか。

教育長 グループワーク等を通し、協働的な学びを推進できるほか、高性能パソコン等の整備により、映像制作の拠点として活用することが期待できる。すでに導入されている第一中学校では、映像を編集して配信する等、生徒の表現力を伸ばす創造的な場として活用されている。活動を通して子どもたちの興味・関心を高め、より社会に密接した教育活動の充実を図る。

議員 個を考えるとときに、集団活動とのバランスが非常に大事だと考える。集団活動による社会的なスキルを身につけることで、主観的な適応状態を肯定的に認識できる環境をつくっていただきたい。

蕨市公式ラインを創設しプッシュ型広報の導入を

議員 自治体公式ラインはお友達登録をすれば市役所に行かなくても一部の申請等ができたり、住民票が取得できるほか、情報がほぼリアルタイムで届く。本市でも導入してはどうか。

総務部長 ラインを活用したプッシュ型広報を行うことは重要な取り組みであると考えている。現在、広報部門で導入に向けた検討を行っており、機能等の内容について関係部署と連携して検討を進めていく。

議員 情報整理をするために多くの部署と連携をして、多角的に情報を発信できる環境を整えることを要望する。

絵画購入について

議員 絵画購入について、部署間において絵画の扱いに違いがあったとの報告があったが、その内容はどのようなか。

総務部長 新庁舎入り口の展示スペースに展示する作品について、市内部の連絡調整がスムーズにいかず、落成式当日になって当該絵画が当日1日限りの展示であると認識することとなった。

議員 展示作品に作者の紹介や、作品紹介も提示されておらず、美術作品の展示に慣れていなさすぎる。

また、絵画購入の判断を議会に委ね、押し付けているようで非常に失礼だと感じている。結果的に絵画購入となった場合でも、作家や作品に対して大変失礼な結果を招くことになるだろう。

ほかに「大谷選手から送られたグローブの活用」について質問。

どうする！これからの蕨市の居宅サービス～介護人材不足に向けて～

おおいし けいこ議員（しんしょうかい）

議員 令和6年度介護報酬改定で4月から介護報酬基本料が減額される。さらに、県南では本市のみが報酬単価が低い6級地6%のままとなった。近年市内の居宅介護事業所は減少傾向であり、このままでは報酬の高い近隣市に移る事業所が出てくるのは必定。医師会等関連団体からも市長あてに地域区分についての要望書が出されたと聞いているが、この状況をどのように考えているか。

健康福祉部長 居宅介護サービス事業者や支援事業者、市内の介護事業所の状況把握や情報共有、連携等に努め、介護保険運営協議会、事業者連絡会、主任ケアマネジャー等の連絡会と協議しつつ可能な支援策について研究していく。

議員 介護予防は日々の生活につながるもので、いきいき百歳体操だけではなく、介護予防の視野を広げてほしい。

新年度の介護予防事業はどのようなか。

健康福祉部長 からだ健康チェック会、フレイル予防教室、いきいき百歳体操においては拡充を図り、保健・医療の専門職が短期集中で行うサービスである訪問型サービスC等を新たなメニューとして検討していく。本市の実情や近隣市の状況を見ながら、介護予防事業のメニューの充実を図っていく。

「けやき荘」を居場所づくりの拠点に

議員 築38年の塚越地区の老人福祉センターけやき荘は全市的に利用されており、80代の利用者が多い。今回アンケートを実施した結果、約42畳の集会室をフローリング化し、いすを設置して

ほしいという要望が多数あった。(回答者136人中112人が要望。)

利用者の気持ちを受け止めて欲しいと要望する。

居場所づくりとして、けやき荘内に高齢者等が気軽に立ち寄れる「カフェけやき」のオープンを提案する。市長の見解はいかがか。

市長 素敵な提案であり、十分可能性があると感じた。塚越ビジョンで検討し、同時にけやき荘の中でどういう形が可能か、利用者の方々がどのような形で関われるのかということも意見を伺いながら検討していきたい。

ほかに「高齢者の肺炎予防としてRSウイルス感染症の周知と注意喚起」「RSウイルスワクチン」について質問。

火災から命を守るために

とちもと よしかね議員(しんしょうかい)

議員 家庭、地域で火災から命を守る対策はどのようなか。

市民生活部長 火気使用器具の周囲に可燃物を置かないことや、感震ブレーカー及び住宅用火災警報器等の火災対策機器の設置があげられる。本市では、出火防止対策や災害対策に関し、消防本部をはじめとした関係機関と連携しながら、まちづくり出前講座や総合防災演習等において啓発を図っている。

議員 総合防災演習の成果はどのようなか。また、現状を踏まえて課題はどのようなか。

市民生活部長 総合防災演習は例年1回、「訓練」の意味合いを持って実施している。

火災に関する訓練としては、初期消火訓練及びスタンドパイプの操作訓練等を実施している。課題としては、内容が固定的になっているとの意見があり、ある程度同じ訓練を行い住民の方々に根づかせる意図がある一方で、新しい訓練も取り入れながら実施している。また、固定的な参加者が懸念されており、学校を含めて、あらゆる参加者を募れるよう啓発に努める。

消防の広域化について

議員 消防の広域化(連携・協力)に対する考えはどのようなか。

消防長 広域化により行財政上様々なスケールメリットを実現し、消防体制を強化することを目的としている。他の消防局、本部とのさらなる連携・協力体制の強化に努め、近隣との連携訓練や緊急消防援護隊に係る合同訓練等を実施しているほか、戸田市消防本部とは平成30年度に予防業務に係る協定を結んでいる。

また、令和3年度には川口市消防局、戸田市消防本部と指令業務に係る共同運用についての勉強会を開催した。

議員 広域化により消防本部の規模が大きくなり、初動時等の出動体制が充実するとされている。広域化の推進、連携、協力について、本市として将来に向かう方向性、考え方を検討していくことを要望する。

消防本部の人員管理について

消防長 定年年齢の引き上げや育児休業取得等により、現場で活動する職員の確保が困難になることが懸念される。

議員 人員確保が不十分であると、隊員個々の安全管理がおろそかになり安全性が著しく低下することが考えられる。

市の安全・安心の根幹となる消防体制についてしっかりと構築してほしいと要望する。

「けんこう」まちづくりの推進について

すずき さとし議員（日本共産党）

議員 けんこうまちづくり（スマートウェルネスシティ）の推進体制、検討状況はどうか。

健康福祉部長 「健康づくり推進庁内検討会議」で協議し全庁的な連携を図る。「歩いてしまう、歩き続けてしまうまちづくり」「ウォーカブルなまちづくり」の方向性に基づき事業を検討していく。

議員 マニフェストに掲げた市長の思い、期待する効果、推進体制についての見解は。

市長 市民の幸せと同時に社会貢献にもつながるという両面で意義があり、大きく2つのポイントがある。1つは体とともに心の健康が大切であり、人と人とのつながりが心と体の健康、幸せにつながる。もう1つは、そこにくらすことが健康につながる、自然と歩きたくなる、人と交流できるということ。本市の条件やこれまでの取り組みを生かして進めたい。民間事業者との連携も重要。まちづくりの大事な柱に位置付け、推進体制もつくり、それぞれがそうした観点で考えトータルで進めていく。蔵に住んでいると心も体も健康になる、そんなまちをつくっていく。

ジェンダー平等の推進

議員 男女共同参画パートナーシッププラン（第2次）後期計画の実施状況及び「庁内の推進体制の充実とモデル事業所としての市役所の実現」の観点からの評価はどうか。

市民生活部長 防災会議の女性委員割合などの目標を達成。達成していないものは第3次プランで引き続き重点的に取り組む。関係部署による男女平等行政推進会議で、多角的な視点から協議し、推進している。モデル事業所については、令和4年度に埼玉県多様な働き方実践企業制度で最上位のプラチナ認定を受けた。

議員 市役所の取り組みが市内の他の事業所にも波及するよう積極的な広報などを求める。性別による無意識の思い込みや偏見の解消、DV被害者支援の拡充も要望する。

離婚後共同親権について

議員 認識はどうか。

市民生活部長 今国会に提出予定の民法改正における離婚後の共同親権に関しては、原則として離婚中に関わらず共同して行使することなどが規定されているものと認識。

議員 DV被害者などが不利益を受ける恐れがあり、子どもの権利に関わる問題もある。

市としてもこうした課題を認識してほしい。

学校プールの今後はどのような

えのもと かずたか議員（無所属）

議員 学校の水泳指導について、新年度は西小学校に加え東小学校でも民間施設で実施する。市内

の小・中学校の水泳指導の今後の見通しはどのようなか。

教育部長 今後は順次、小学校の授業は民間プールで行いたい。中学校は一学年の人数が多いことや部活動での使用があるため、引き続き学校施設で授業を行っていききたい。

議員 老朽化したプールを改修して利用するのと、民間プールを利用するのとでの経費の比較はどのようなか。

教育部長 大規模改修をすると、1校あたり経費も含め約3億円かけて30年程度使用できる。民間プールは1校あたり年間で約500万円であり、30年間委託した場合には、1億5千万円となる。

議員 民間プールに委託したほうが経済的だとは理解した。

インストラクターと学校教員の情報共有はどのようなか。

教育部長 授業実施前に事業者と教育委員会・学校と指導方法・内容について協議し、すり合わせを行った。また、指導の内容と児童の技能が合致しているか、その都度協議している。指導はインストラクターが行い、教員は周りで見守り安全の確保に努め、評価等も余裕を持って取り組めた。

読書通帳を活用して本に親しむ習慣を

議員 令和5年3月議会で私が提案した図書館における読書通帳について、新年度予算に盛り込まれた。活用方法は。

教育部長 未就学児向けに読み聞かせ手帳事業を実施し、4か月児健診時に実施するブックスタート事業の際に配布するほか、希望者には図書館のカウンターで配布する。

議員 読んだ冊数に応じた景品等も提案したがどのようなか。

教育部長 読書通帳が1冊埋まった方に、景品等を差し上げたいと考えている。

発達障害の相談体制の充実を

議員 発達障害の心配がある子どもの保護者の相談体制は。

健康福祉部長 保健、教育、福祉等の関係部署や保育園、幼稚園、児童発達支援センター、学校等の身近な機関に相談していただくことで、関係機関が相互に連携しながら必要な支援を行っていく。

議員 保護者からは制度などの情報が少なすぎるという声をいただく。一人一人に親身になった対応を。

ほかに「保育士の確保」「市民公園のトイレの洋式化」等について質問。

学校トイレ洋式化・不登校児童・生徒への支援について

かなまる けんじ議員（しんしょうかい）

議員 学校トイレについて、教職員用トイレを含む洋式化・床の乾式化率を100%にするとのことだが、令和7年度に東小学校・南小学校・中央小学校、令和8年度に残り4小学校、令和9年度に全3中学校の改修工事を完了することは可能か。また、多目的トイレの設置意義をどのように考えるか。

教育部長 工事完了は可能だと考える。多目的トイレの必要性は認識しており、各校の体育館には整備済みだが、校舎内への整備も検討していく。

不登校児童・生徒に支援を

議員 昨年、文部科学省が策定したココロプランを受け、本市の不登校（学校に行かない選択をしている）児童・生徒への支援方針はどのようなか。

教育部長 ココロプランでは「不登校児童・生徒をゼロにするのではなく、不登校により学びにアクセスできない子どもたちをゼロにすること。子どもが自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立する状態を目指すこと」が求められていることから、教育委員会、小・中学校、教育センターが連携をしながら対策を講じている。

議員 現在の本市における不登校の児童数と増加率、支援施設の在籍数はどのようなか。

教育部長 令和4年度末では、小学生が44名、中学生が83名で前年より23%増。在籍数は、教育センターが8名、中学校のステップアップルームが10名、フリースクールは7名。

議員 小学校内へのステップアップルーム設置の有効性や課題をどのように考えるか。

教育部長 設置は学校生活の選択肢が増え、心や体を落ち着かせたり、学びを保障することにもつながる。

また、居心地の良い環境作りや、個別の学習支援、人間づくりの要素も取り入れたカリキュラム等も必要だと考えるが、教室・教員確保等に課題がある。

議員 不登校児童127名に比べ、各支援施設につながれている児童が少ない。学校に来られない児童に寄り添って、ステップアップルームの在り方や改善案を学校に提案できる専門職員の配置、民間などの専門支援機関との連携、予算の増額などを要望する。

ほかに「蕨駅西口に設置予定の行政センターの機能」「市政運営における心理的安全性の有効性」「図書館への漫画の排架」等について質問。

災害時の上水道の安定供給について

ひき こうじ議員（しんしょうかい）

議員 災害時における上水道安定供給はどう進めるのか。

水道部長 水道事業業務継続計画の中で、主要な管理である基幹管路及び重要施設配水管路については、災害協定を締結している蕨市管工事指定店組合などの協力のもと、応急復旧を発災後4日目までに完了させることを目標としている。これにより、各指定避難所では、発災後5日目以降は、非常用応急給水栓や拠点応急給水が可能となると考えている。

応急危険度判定士の活動内容について

議員 被災建築物の速やかな判定を行う応急危険度判定士ネットワークの充実についてはどのようなか。

都市整備部長 民間応急危険度判定士16名と市職員の有資格者16名の計32名を応急危険度判定士として登録し、参集連絡訓練などを実施している。

令和4年度より埼玉県が運用している応急危険度判定士参集マッチングシステムを活用し、判定士の確保と訓練の充実を図っている。

議員 1日に応急的に判定する件数は1名でどの程度か。

都市整備部長 判定業務マニュアルの中で、2名1チームで1日に判定を行える調査件数は、15

棟という目安が示されている。被災市町村では被災後、被害想定棟数を算出した上で、10 日間で判定活動ができるように、場合によっては県に判定士を要請し、確保している。

議員 ぜひ 10 日間で終了できるようにしていただきたい。

ペット同行避難ガイドライン及び車中泊対策について

議員 ペット同行避難ガイドラインの早急な策定をお願いしているところだが、作成についてはどのようなか。

市民生活部長 災害時には、避難所でのペットの受け入れが想定されることから、ガイドラインの作成に向けて他市の事例研究を進めている。

議員 車中泊避難所を開設すべきではないか。

市民生活部長 例えば校庭に車を入れる想定をした場合、出庫することが困難になる懸念がある。しかし、他人に迷惑をかけたくないなどの理由から車中泊が発生している状況は認識しているため、限られたスペースで避難されている方の支援ができる状況を提供していきたい。

ほかに「地域防災計画の改定」「学校での防災教育」等について質問。

子どもたちの「学び」を保障する取り組みのいっそうの推進を

たけした りょう議員（日本共産党）

議員 不登校者の保護者や学習支援の講師等の対話を通し、支援の必要性を実感。不登校及びフリースクールに通う児童、生徒の現状と傾向はどのようなか。

教育長 令和 4 年度末時点で、小、中学校の不登校者数は 1 2 7 名で、全児童・生徒の約 2.8 % にあたり、中学校の方が高い割合の傾向にある。フリースクールの登録者数は 7 名で、前年度比と同程度の割合となっている。

議員 不登校への支援はどのように行われているか。

教育長 学級担任をはじめ、教育相談員等も関わり、面談や家庭訪問を行うほか、教育センター等とも連携して組織的に対応している。

議員 児童・生徒が相談したい教職員を指名するパーソナルチューター制度を設けている事例もある。本市では、公立学校として子どもの最善の利益、幸せを守るため、子どもの知恵も借りながら、「チーム学校」としての取り組みを期待する。

学習支援について

議員 子どもの学習支援事業の内容と効果、また、新年度の拡充についてはどのようなか。

健康福祉部長 生活保護受給世帯を含む生活困窮世帯の中、高校生を対象に週 2 回の学習教室の開催や、居場所の提供、相談支援を実施している。学習環境を整えることにより、学力や意欲の向上等の効果が得られたと認識している。生活困窮者自立支援法による学習支援事業については、登録世帯に大学等の受験料及び模擬試験の受験料を支援しており、新年度では経済的課題を抱えるひとり親家庭等を対象に、同様の助成を行う。

いのちと健康を守る建物の断熱強化の推進を

議員 公共施設等を含む建物の断熱化について、本市の見解はどのようなか。

市民生活部長 環境に優しく持続可能なエコシティを目指し、脱炭素社会に向けたまちづくりの推

進を図る本市にとって有効的な取り組みであると認識している。

総務部長 既存の公共建築物については、省エネ手法を採用し、建築物のエネルギー消費性能の向上に係る様々な工夫を検討していく。

議員 断熱化は健康保持増進、地球温暖化対策の観点からも、有効な取り組みとして啓蒙に取り組んでいただきたい。

平和都市宣言をしている蕨市として平和行政の推進を

やまわき のりこ議員（日本共産党）

議員 ロシアのウクライナ侵攻や、イスラエルのガザ地区攻撃に対する市長の考えは。

市長 国連憲章及び国際法に明白に反するとともに、平和な国際秩序を破壊する暴挙であり、ロシアに対しウクライナからの即時撤退を求めるものである。また、イスラエルによるガザ地区への攻撃については、速やかな停戦合意を強く求めている。

議員 自衛官募集業務について、名簿の閲覧や自衛官募集の配布物作成の過程についてはどうか。

市民生活部長 本市では自衛隊法に基づく法定受託事務として実施しており、今年度は国からの委託金を受けて募集啓発用ポケットティッシュ2,500個を作成し、市民課窓口を設置。名簿の閲覧は平成28年度から依頼がないため実施してない。

気候変動・地球温暖化防止への対策を

議員 ゼロカーボンシティ宣言を実施し、どのように対策を推進していく考えか。

市長 CO₂ 50%削減という意欲的な目標を掲げた。市民や事業者と協力して、日本一のエコシティへの取り組みを加速化させていく。

議員 地球温暖化対策設備等設置費補助金の利用状況は。

市民生活部長 家庭用太陽光発電システムが申請26件、家庭用燃料電池が31件、リチウムイオン蓄電池が26件、ヘムス（ホームエネルギーマネジメントシステム）が9件、電気自動車が10件、事業用太陽光発電システムが3件、申請件数は計105件、補助金額は計1,051万円。

ごみ収集とごみステーションについて

議員 戸別収集の実施状況は。

市民生活部長 今年2月末時点で28世帯が利用、更に3月には4世帯が新たに利用することとなった。

議員 折りたたみ式もやすごみ回収ボックスの設置状況は。

市民生活部長 昨年秋に各町会に1台ずつ、さらに計20町会で132台を追加で購入した。高い評価を受けて、新年度には更に100台を増設。

議員 資源物収集かごが重くて配置や片付けが大変との声があるが、改良する考えは。

市民生活部長 軽量のネット型容器の試作品を作り、実証実験を行っていききたい。

ほかに「子育てするならわらび、子育て支援策の充実」について質問。

絵画の購入について

こばやし りき議員（しんしょうかい）

議員 絵画の購入について、本市として現状の総括はどのようなか。

教育部長 新庁舎の落成式に展示させていただく作品の貸与をお願いしたところ、新たに創作した絵画をお寄せいただけることとなった。当日、本作品を鑑賞した参加者から、1日限定の展示であることを惜しむ声や、継続した展示を望む声があった。

総務部長 市内部では、当該絵画が新たに創作いただいた作品であったこと、1日限定の展示であったこと等の情報共有がなされておらず、その後、慎重な検討を行った結果、絵画の購入の判断を行い、議会に予算案を提案させていただいた。市民の幸せと文化の振興・発展の観点から、最もふさわしい判断であると認識している。

議員 絵画を購入するためにどのような尽力をするのか。

総務部長 世界的にも評価の高いちない氏に創作していただいた絵画であること、庁舎に展示スペースが設置されていること、そして、市民から当該絵画の展示を望む声が多数寄せられていることを踏まえ、引き続き丁寧な説明に努める。

議員 絵画が購入できた場合、どのような活用を考えているのか。

教育部長 新庁舎入り口の展示スペースに半年程度展示させていただいた後、「蕨市展」等への展示を行う。このほか、小、中学校や市内公共施設においても鑑賞の機会を設けていきたいと考えている。

契約業務について

議員 市発注の公共工事は、スライド条項を適用することで金額を調整し、物価高騰から守られている。しかし、長年本市に貢献している地元企業には何の救済もないのが現実である。物価高騰に苦しむ事業者を目を向け、やむを得ない事情等があった場合は、契約金額を見直すべきと考えるがどうか。

総務部長 業務委託契約については、物価高騰に伴う変更契約を容易に認めると、落札できなかった事業者との不公平が生じてしまい、入札の公平性や競争性が保てなくなる可能性があるため、契約額の変更については、慎重に考える必要があると認識している。

市民生活部長 仕様書契約の範疇ではあるが、業務の効率化や事業所、従業員の負担軽減につながるような策がないか、不断に話し合いを続けていきたい。

政務活動費の領収書を公開しています！！

蕨市議会では、政務活動費の用途について、その透明性をより高めるために、蕨市議会ホームページにおいて令和5年度分の領収書等を公開しています。蕨市ホームページの「蕨市議会」からご覧になることができます。また、議会だよりでは、令和5年度の政務活動費収支報告書を掲載します。（議員1人当たり月額3万3千円の政務活動費が交付されました。）令和5年度は、議員の任期満了に伴い、令和5年4月から7月分と同年8月から令和6年3月分に分けて掲載しています。

令和5年4月から令和5年7月分 政務活動費収支報告

れいせいクラブ 4人
交付額 52万8千円
広報費 33万3,950円
資料作成費 5万2,684円
資料購入費 2,503円
支出額 38万9,137円
返還額 13万8,863円

日本共産党 4人
交付額 52万8千円
広報費 42万7,219円
資料作成費 6万2,461円
資料購入費 3万8,500円
支出額 52万8,180円
返還額 0円

公明党 3人
交付額 39万6千円
広報費 11万3,010円
資料作成費 10万4,438円
資料購入費 16万4,229円
支出額 38万1,677円
返還額 1万4,323円

れいせいクラブは13万8,863円を、公明党は1万4,323円をそれぞれ返還済みです。
りっけんみんしゅとうわらび、無所属（みわ議員、えのもと議員）は政務活動費の交付申請をして
いません。

令和5年8月から令和6年3月分 政務活動費収支報告

しんしょうかい 9人
交付額 237万6千円
研修費 90万788円
広報費 105万9,900円
広聴費 0円
資料作成費 17万4,418円
資料購入費 24万4,827円
支出額 237万9,933円

返還額 0 円

日本共産党 4 人

交付額 105 万 6 千円

研修費 4 万 262 円

広報費 26 万 6,954 円

広聴費 560 円

資料作成費 32 万 7,713 円

資料購入費 9 万 5,237 円

支出額 73 万 726 円

返還額 32 万 5,274 円

公明党 3 人

交付額 79 万 2 千円

研修費 28 万 2,880 円

広報費 13 万 6,990 円

広聴費 0 円

資料作成費 22 万 1,669 円

資料購入費 26 万 5,612 円

支出額 90 万 7,151 円

返還額 0 円

日本維新の会 1 人

交付額 26 万 4 千円

研修費 0 円

広報費 0 円

広聴費 0 円

資料作成費 3 万 4,050 円

資料購入費 1 万 6,500 円

支出額 5 万 550 円

返還額 21 万 3,450 円

日本共産党は 32 万 5,274 円を、日本維新の会は 21 万 3,450 円をそれぞれ返還済みです。
無所属（えのもと議員）は政務活動費の交付申請をしていません。

6 月定例会の日程（予定）

6 月 3 日月曜日 開会

5 日水曜日 議案質疑、委員会
6 日木曜日 委員会、分科会
7 日金曜日 委員会、分科会
10 日月曜日 委員会、分科会
17 日月曜日 一般質問
18 日火曜日 一般質問
19 日水曜日 一般質問、委員会
21 日金曜日 閉会

議会の都合により日程は変更になる場合があります。

広報広聴委員会を開催しました

3 月 18 日「6 月発行号の概要について」

5 月 16 日「6 月発行号の最終確認、議会報告会について」

会派構成が変わりました

令和 6 年 5 月 15 日づけで、みやしたなみ議員から無所属の会派届が提出されました。

会派構成の変更部分は以下の通りです。

日本共産党蕨市議会議員団 3 名

すずきさとし、やまわきのりこ、たけしたりょう

無所属

みやしたなみ

蕨市議会議員のご紹介 環境福祉経済常任委員会 6 名

令和 5 年 7 月から蕨市議会議員は新たな構成でスタートしました。3 回にわたり、18 名の市議会議員を紹介しており、この企画の最終回となる今号の議会だよりでは、環境福祉経済常任委員会のメンバー 6 人を紹介します。

議席番号 7 みやしたなみ議員（委員長）

習慣&好きなこと

植物療法フィットセラピー、アロマ健康づくり、動物ハーブ療法、ワンちゃんになるべく化学薬品を使わない生活、犬の行動、訓練、犬との時間、ホットヨガ

ライフワーク・取り組み

選択的夫婦別姓の法制化を、包括的性教育、SRHR の実現

LGBTQ 、多様性の尊重、結婚の自由を全ての人に

議席番号 5 しょうのこうじ議員（副委員長）

ニックネーム こうちゃん

趣味

ソフトバレーボール、ゴルフ、ソフトボール（最近始めました）

好きなことわざ 習慣は第二の天性なり

好きな映画 フィールド・オブ・ドリームス（夢や希望、家族の絆を描いた作品）

議席番号 3 かなまるけんじ議員

趣味 音楽（聴くのも歌うのも）、読書（政策関連、漫画も）

地域での活動

蕨防災士会、東小学校放課後子ども教室実行委員長、塚越稲荷神社奉賛会、塚越 1 丁目町会副会長など

大切にしたいこと 一人ひとりを大切に

よく作る料理 オムライス、肉うどん

議席番号 14 やまわきのりこ議員

ニックネーム のん

信条 温故創進

マイブーム 神様めぐり、バイク、ドライブ

挑戦したいこと ギターの弾き語り（笑）

目標 みんなが笑顔になれるまちづくり

議席番号 17 まえかわやすえ議員

ニックネーム まえまえ（結婚してから）

マイブーム

フラダンス（まだまだ 10 年目）、愛犬マメさんとのゆったり時間

無性に食べたくなる物 洋食屋さんのナポリタン

やりたいこと（好きなこと） 旅先での地酒めぐり

好きな言葉 必然、ありがとう

議席番号 18 おおいしこういち議員

趣味 読書、書店巡り、万年筆を使って文章を書くこと

特技 柔道

好きな食べ物 日本そば

資格

中学、高校（国語）教員免許、柔道 4 段 C 級指導員、応急手当普及員、防災士、ペット災害危機管理士 1 級

好きな言葉 けんこんいってき

目標 ペット防災マニュアルを作成すること

編集後記

昨年度から話し合いが継続されている「病院建替えの移転先」の検討が「審議会」及び「特別委員会」で尽くされ、市は最終的に西公民館、松原会館を含む一体的な敷地とすることを決定しました。

今後、どんな病院であるべきか、どんな病院にしていくのかなど、病院の運用や経営方針など持続可能な病院経営と市民の生命を守る観点から、市民の声を聞きながら議会としてしっかりと議論を深めていく必要があると考えております。

現状を徹底的に分析し、将来を予測し、地域医療を支え、もっと市民から必要とされる病院を目指します。

今後も市民の方々の思いを市政に反映してまいりますので、是非皆様の声を議会にお寄せください。

広報広聴委員会

委員長、おおいしけいこ

副委員長、かなまるけんじ

委員、すずきしんのすけ、おかだみきお、やじまさところ、えのもとかずたか、すずきさとし、おおいしこういち、ふるかわあゆみ